# Apple Watchの接着剤の交換

Apple...

作成者: Andrew Optimus Goldheart



ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2023-02-04 08:17:57 PM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

## はじめに

Apple Watchのスクリーンを外したものの再び組み立てる必要がないときはこのガイドで接着剤を切断し、その後に本体を閉じてください。

### ツール:

- ピンセット (1)
- iFixit開口ツール (1)

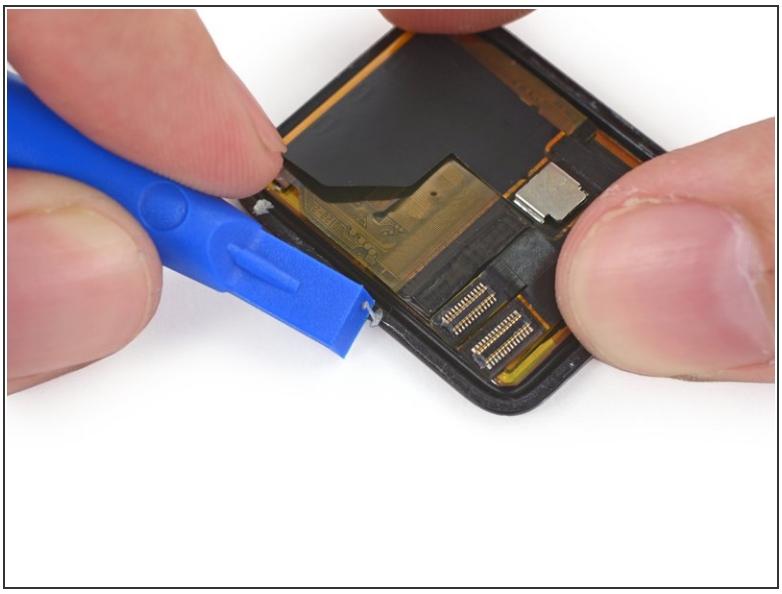
### 部品:

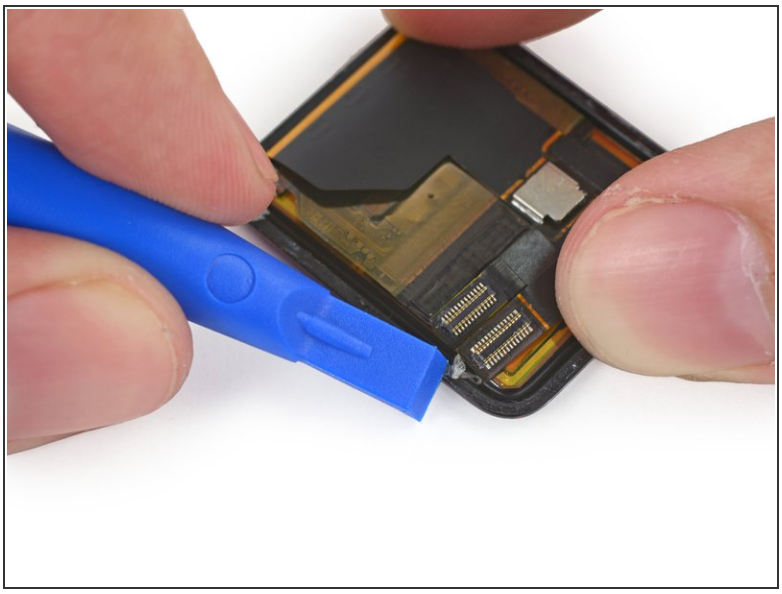
- Apple Watch (38 mm) 接着ストリップ (1)
- Apple Watch (42 mm) 接着ストリップ (1)



© iFixit — CC BY-NC-SA 

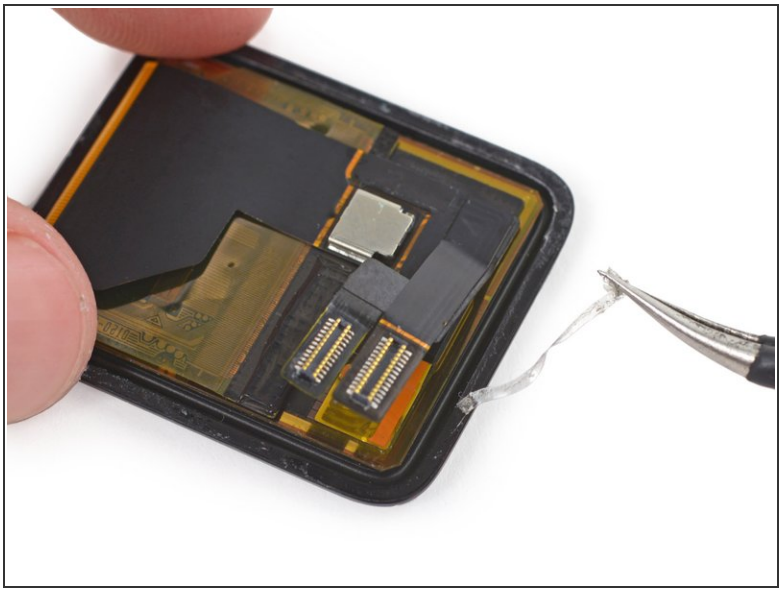
## 手順 1 — 接着剤

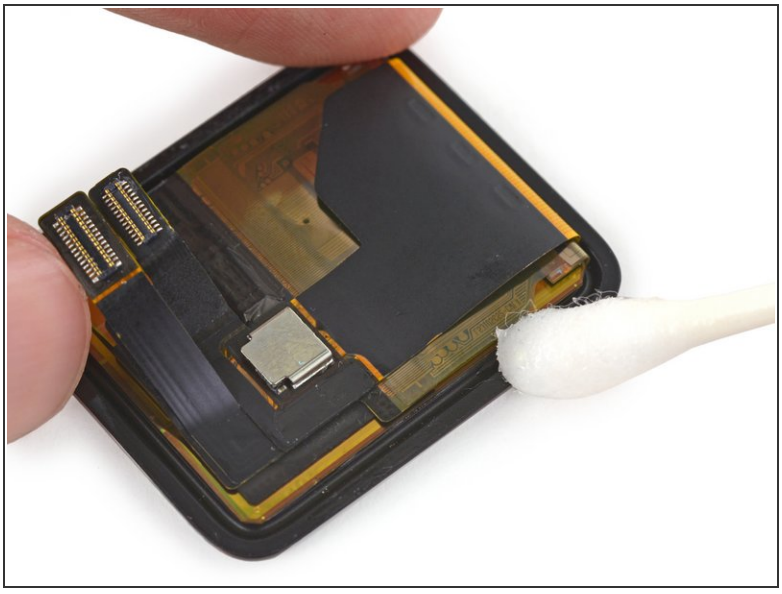




- プラスチック製の開口ツールを使ってスクリーンの裏側に付けられた接着剤を剥がします。

## 手順 2





- ピンセットを使うと、接着剤を綺麗に取り除けます。

ⓘ 一度接着剤を綺麗に取り除いたら、アルコールを湿らせた綿棒でスクリーン裏に残った接着剤を拭き取ります。



© iFixit — CC BY-NC-SA 

## 手順 3





- ピンセットを使って、接着ストリップのパッドの一つからアウターリングを剥がします。
- 必ず接着剤と茶色の裏紙の両面を取るようにしてください。

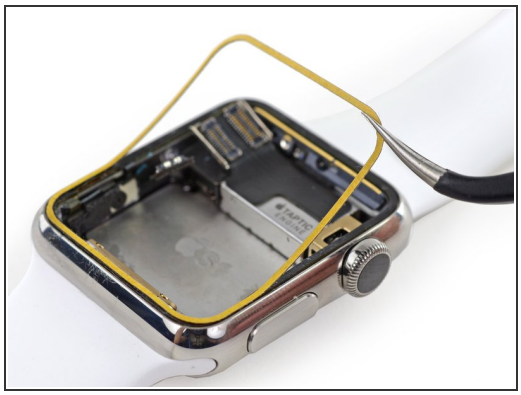
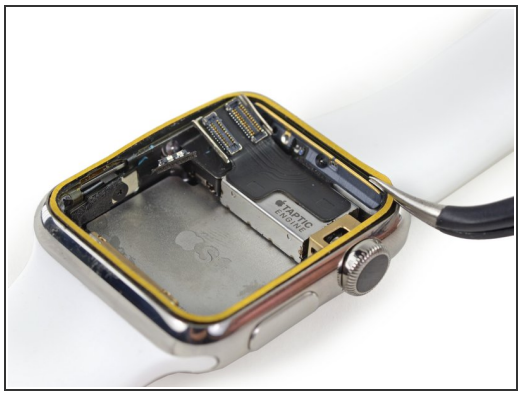
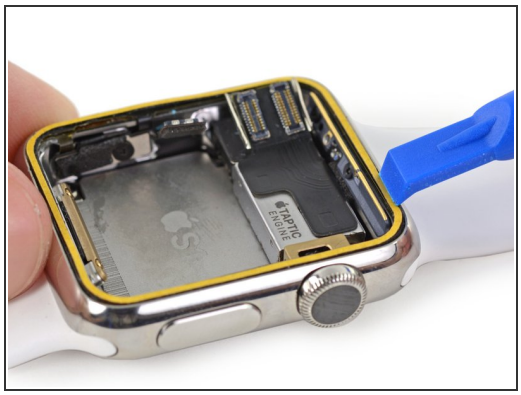
ⓘ 両面接着の操作に困ったときは、こちらの動画をご覧ください。

ⓘ 粘着テープを折ったり、曲げたり、伸ばさないように細心の注意を払ってください。スクリーンとケースの間の溝でテープが分厚くなり、スクリーンにうまく装着できなくなります。



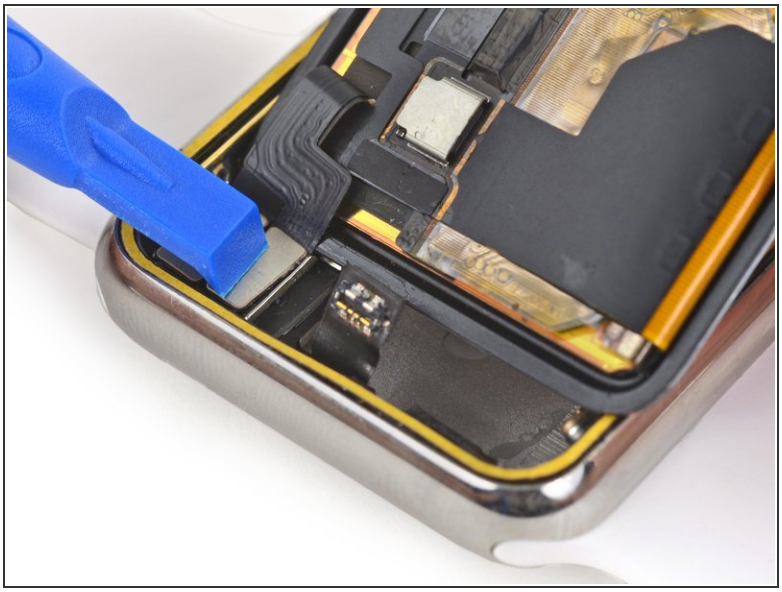
© iFixit — CC BY-NC-SA 

## 手順 4

- ディスプレイが搭載されている筐体の縁の周辺にあるForce Touchセンサ上に背面を剥がした粘着テープを載せます。
- 角にできるだけ近いところからテープを貼ってください。
- 筐体の周囲全体に粘着性が保てるよう、プラスチック製開口ツールを使って、茶色の剥離紙を押さえます。

## 手順 5

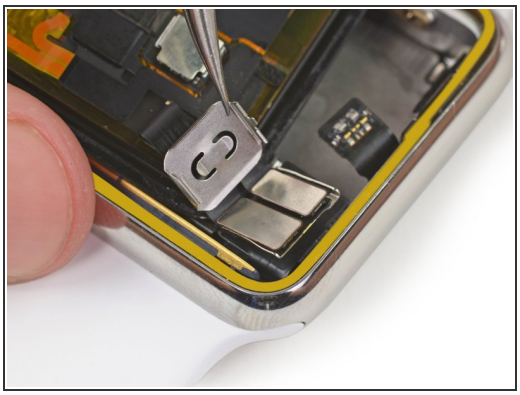
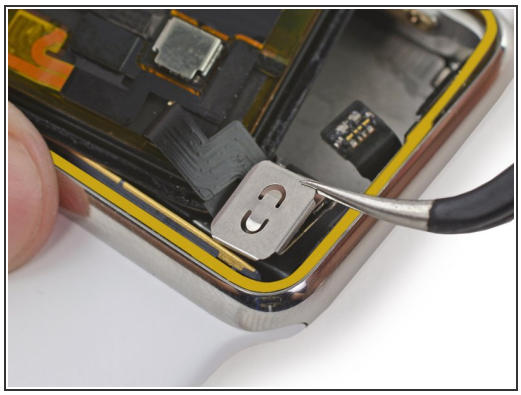
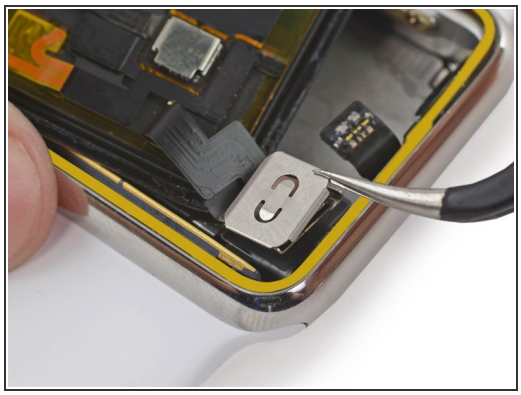



- プラスチックの開口ツールを使って、ディスプレイデータとデジタイザのケーブルコネクタを再接続してください。

⚠ 指先の油脂が通信障害を発生させるので、直接接続部に触らないように注意してください。

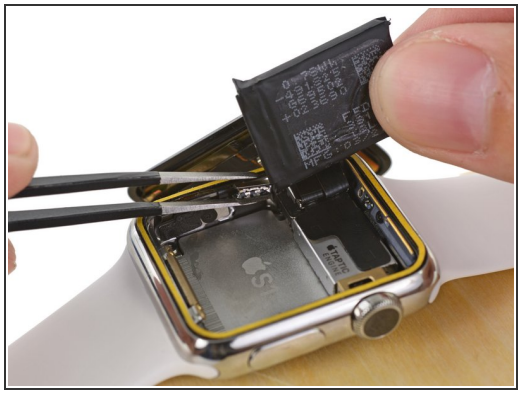
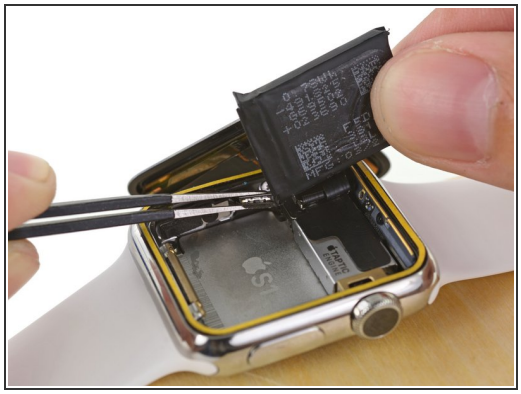
ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2023-02-04 08:17:57 PM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

## 手順 6

- メタル製ブラケットを取り付けるには、単一のタブを下側半分の上の方のスロットに位置を合わせ、ブラケットを下にスライドさせます。
- 上部ブラケットが所定の位置にはめ込みます。カチッと音がしたら、固定されています。

## 手順 7

- Watch本体内側のケーブル上に、バッテリコネクタの位置を合わせます。
- ピンセットを使って、2つのコネクタを同時に押さえます。



© iFixit — CC BY-NC-SA 

## 手順 8





- バッテリーを回転させてスロットに入れ、所定の位置に押し込みます。
- バッテリーをS1上に押し付けて、接着剤で再装着します。

これで、Watchの電源テストするベストなタイミングです。電源が入らない場合は、3つのコネクタをすべて再点検してから、再試行してください。

## 手順 9



- ピンセットを使って、接着バッキングストリップを剥がします。
- バッキングストリップを途中まで剥がし、はさみで切り取ります。そうすることで、ディスプレイに付くことなく残りを剥がすことができます。



© iFixit — CC BY-NC-SA 

## 手順 10






- スクリーンを右に戻し、ディスプレイデータとデジタイザーのケーブルをきれいにたたみます。
- ケースの上にスクリーンを載せ、接着剤を付けてしっかりと押し込みます。

ⓘ また、デバイスの周囲にスクリーンバイスクランプを使用して、新しい接着剤をセットすることもできます。



© iFixit — CC BY-NC-SA 